

# 一貫教会報

平成30年2月1日  
第3号(通算26号)  
羅臼町幼小中高一貫教育研究会  
(事務局：羅臼高校)

今年度の取組 今年度の取組をまとめました。

## 「小中校一貫ふるさとキャリア教育推進事業」平成27年～29年

平成19年度から中高一貫教育、平成24年度から幼小中高一貫教育を実施しているなか、2年半地域の未来を担う人材育成のため、世界に誇る大自然や環境また水産業を中心とした産業などの教育資源を生かしたキャリア教育に取り組みました。

小学校(羅臼小・春松小)、中学校(羅臼中・春松中)と羅臼高校において「地域大好き!プロジェクト」と高校において「子ども大好き!プロジェクト」を柱とした取組を実施しました。

この活動には地域の人々や関係機関からも多くの支援やご協力をいただいております、積極的に関わることで地域が元気になることもねらいの一つとしています。

[地域大好きプロジェクト] 地域を愛する・交流を深め学び合う

○地域の人達との触れあいや羅臼町を訪れた人と交流を持つことで郷土愛の育成を目指す。

(町祭事参加・生徒会交流・学習ボランティア・他校交流・豊漁の舞披露・北方少年交流事業)

○「ふるさと羅臼再発見」と題して地域の魅力を発信している人の話を聞く。

(講演会・施設見学・パンフレット作成・生態系学習・ふるさと探検隊・知床キッズ)

○インターンシップの実施と発表会(中2、高2生全員、学校祭等で発表)



## ユネスコスクール研究発表会 12月9日(土) 春松小にて

〈羅臼小学校〉5年生「羅臼昆布の秘密を探れ!～羅臼の昆布はなぜ高級?～」

〈春松小学校〉4年生「羅臼のいいとこ、再発見!!」

〈羅臼中学校〉2年生「職場体験で学んだこと」小学校・薬局

〈春松中学校〉2年生「職場体験で学んだこと」消防署・ドラッグストア

〈羅臼高等学校〉「羅高祭2017 ～19年ぶりに復活した行灯行列」

「私たちの知床学」「平和スタディツアー2017ヒロシマ」報告

## 北海道キャリアサミット 10月31日(火) 札幌ライフォートにて

ソスケ地区で通行止めになり、札幌まで行けるか間際までわかりませんでした。通行止め解除となり、何とか札幌まで無事たどり着くことができました。小学生と中学生と高校生と一緒に出掛けることは初の体験でした。前日も当日も練習をして羅臼町の取組を堂々と発表しました。

熊学習(人とヒグマの共存、ヌブとカナのお話)、羅臼町のPR活動(観光、自然、食のパンフレット作成)コミュニケーション力を高めるため札幌駅、千歳空港など様々なところで配付をしました。また地域密着型の取組(豊漁の舞、創作料理プロジェクト、水産教室)を発表しました。当日の様子がYouTube(H30.3.31まで)にて配信されています。是非ご覧ください。

地域PR活動では漁業協同組合、商工会の協力による昆布と海洋深層水でつくった塩(ラウソップ)を配布し、羅臼町の魅力を発信してきました。生徒たちはこの会で「羅臼町」と何回も宣伝をしていたことがとても印象に残りました。

